

随想

名 医

北島 桂子

ワタシ オイシャサンナノ
ナンデモナオシテアゲルワ
ダカラ
オバアチャンハビョウキニナッテ
ココニ ネテクダサイ
ドコガイタイノデスカ

少しむつかしい病気です
風邪をこじらせて咳がとまりません
咳をするたびに
ココロの奥のタマシイが痛みます
苦しくなると
体を小さくまるめて
誰もいない所にうずくまります

エッ
タマシイガイタイデスッテ
ドコノコトデスカ
タマシイハタマデスカ
タマハネコデハアリマセンカ
ソウデショウ
ネコノビョウキハダメデス
イヌネコビョウインヘイッテクダサイ
ハイ
ツギノカタハイッテクダサイ

……平素作っている詩の中から一つ……孫との対話の中から生まれたもので私はとても気に入っています。曖昧に自分の手に負えない患者を見分ける孫の名医ぶりに感嘆したものです。「タマシイ」から猫の「タマ」を想像するのも面白いです。

(地平の会会員)